

公表:令和 4年 3月5日

事業所名 児童デイサービス十彩おたる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切である。	児童の事を考えより良い支援を提供するため物の配置や構造化を行っていきます
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員配置は法定基準を満たしている。	より良い療育のために基準配置以上の配置ができるような環境を整えたい
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			バリアフリーが必要とする児童を想定し配慮する
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			月に一度の会議で業務改善を行っている。	事業所としての目標や療育の目標を設定し、業務改善を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートに基づいて施設会議を行い、改善策を立案している。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所の玄関に掲示、HPで公開している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				現在行っていないが検討はしている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月内部研修を行いながら、希望があれば外部研修に参加している。	コロナでなかなか外部の研修を受けれていない。オンラインの研修などに積極的に参加する
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを適切に行っている。	
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートも改善しながらおこなっている	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			立案者を中心にチームで内容を検討している。	毎月同じにならないように、反省し、改善につなげている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日に応じてプログラムは固定化しているが内容は変えている。	プログラム自体のリニューアルも必要と考える
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			施設会議やミーティングで話し合い検討している。	休日利用の時間の使い方が課題である。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		個別活動での対応や集団活動では、小集団に分けるなど組み合わせを行っている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日朝礼を行い、支援の内容や役割を決めている。	事前にレクの担当は決まっているがサポート役としての機能を充実させる。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎の関係で時間がない場合は連絡ノートにて情報を共有している。	次の日の朝礼に持ち込むことがある。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録の記入を徹底し、会議でも議題にしている。	支援の改善が上手く出来なかったことがあった。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			組み合わせせてプログラムをつくっている。	複数の活動を組み合わせすぎでうまくいかないことがあった。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		管理者もしくは児童発達支援管理責任者が参加している。	状況により児童指導員、保育士にも参加してもらう。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		送迎の際に情報を共有している。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				現在医療ケア児がいないため、そのような事例はないが必要な場合は整える。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援事業所を通して共有を行った。	必要があれば提供する準備はできている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談支援事業所を通して共有を行った。他の事業所の方が見学に来ることもあった。	必要があれば提供する準備はできている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			研修の機会がすくない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				コロナの関係で交流を自粛している。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			市内で行われている支援部会に定期的に参加している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		完全送迎のため、学校の先生からの情報や保護所との情報を活用している。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				ペアレントトレーニングの支援体制は整えているが、実際に支援の要望はない
		⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				相談に応じることや時間をつくり助言支援を行う体制を作ることができた。

保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			望んでいない保護者が多いが必要に応じて検討する。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			マニュアルはもちろん、迅速に対応している。	苦情があった場合は適切に対応し、朝礼や会議の際に改善案を考えている。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		行事カレンダー等発行している。	
	㉓	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取扱いに関する研修を行っている。	
	㉔	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			わかりやすく、伝わるように配慮している	
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				コロナの関係もあり、最低限で行っている。
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各種研修を行っている。	
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防の方を招いて避難訓練を行っている。	
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修を定期的に行っている。	
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				今まで、身体拘束を行うような事例はない。
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○			現在、アレルギーがあり医師の指示が必要な児童はいないが該当すれば対応をする。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集という物はないが、起こった際は報告書をファイリングして共有している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。